

目の病気を早期発見! 「眼底検査」

定期健康診断で行う目の検査は視力検査が一般的ですが、実はこの検査だけでは目の病気は見つかりにくいとされています。

そこで推奨されるのが**眼底検査**。これは眼球の奥にある網膜を、目の正面からカメラで覗いて観察・撮影し、状態を調べるものです。

この検査では、失明する恐れのある様々な目の病気を**早期発見**でき、さらには網膜の血管が直接観察できるため、目以外の体全体の血管状態も予測できるとされています。

一般的に目の疾患は、発症し進行していても**自覚症状が出にくい**とされています。

今まで視力検査しか受けたことがない方は、ぜひ定期的に眼底検査を受けてはいかがでしょう。

